

はじめに

本県における消防防災体制は、これまでの関係各位の御尽力により、県民の皆様の安心・安全の確保を図るため、着実に充実強化されてきております。

最近の県内での災害発生状況等をみますと、まず、消防関係では、火災や危険物施設における事故は、発生件数こそは減少傾向にあるものの、火災による死者数は横ばいとなっており、また、人口の高齢化に伴い救急搬送需要が増大しています。

自然災害では、昨年7月には記録的な豪雨による災害に見舞われ、過疎化・高齢化の進んだ中山間地域を中心に、河川の氾濫等による多数の家屋への浸水被害をはじめ、道路法面の崩壊による交通網の寸断や鉄道橋梁の流失など、甚大な被害が発生しました。

こうした状況を踏まえ、県では、火災による高齢者の逃げ遅れ等を防ぐため、住宅用火災警報器の設置を促進しているほか、このたびの局地的な集中豪雨を教訓とした総合的な治水対策をはじめ、自主防災組織の活性化に向けた自主防災アドバイザーの養成等、ハード・ソフト両面から防災・減災対策の強化に取り組んでいます。

また、地域における防災行政を担う市町の役割は極めて重要であり、今後とも消防団や自主防災組織の活動の活性化、住民参加型の訓練の充実などに取り組んでいただくことが必要ですが、県としても、こうした市町の地域防災力向上のための主体的取組が進むよう、積極的に支援していくとともに、円滑な救急搬送の実施に向け、消防本部と医療機関の連携を促進してまいります。

本書は、当課が所管する消防・防災関係の幅広い業務について、県内市町、消防本部等からの報告に基づき、平成25年4月1日現在及び平成24年度中における概況を取りまとめたものです。

災害はいつでもどこでも起こり得ることを十分念頭に置き、私たちはなお一層、防火、防災・減災対策に取り組んでいく必要があります。本書が消防防災関係者はもとより、多くの皆様方に活用され、今後の各種施策推進の参考となれば幸いです。

平成26年1月

山口県総務部防災危機管理課長

中野 恵